

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成29年11月24日 (2017.11.24)

【公開番号】特開2016-90250(P2016-90250A)

【公開日】平成28年5月23日 (2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2014-221149(P2014-221149)

【国際特許分類】

G 0 1 J 3/02 (2006.01)

G 0 1 J 3/26 (2006.01)

G 0 1 N 21/27 (2006.01)

G 0 1 N 21/01 (2006.01)

A 6 1 B 5/1455 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 J 3/02 Z

G 0 1 J 3/26

G 0 1 N 21/27 B

G 0 1 N 21/01 Z

A 6 1 B 5/14 3 2 2

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月12日 (2017.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入射する光に含まれる測定対象波長の光の光量を取得する測定モジュールと、
前記測定モジュールを収納し、前記測定モジュールに向かう光を通過させる窓部を有する筐体と、

前記窓部から前記測定モジュールに向かう方向から見て、前記筐体の外側であって、前記窓部を囲む領域に配置された粘着部材と、
を含み、

前記粘着部材は、前記測定対象波長を含む測定波長域の光を遮る遮光部を含み、前記窓部から前記測定モジュールに向かう方向から見て、前記遮光部は前記窓部を囲むことを特徴とする分光測定装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の分光測定装置において、
前記窓部から前記測定モジュールに向かう方向から見て、前記遮光部は、前記粘着部材の外周縁よりも内側に配置される分光測定装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の分光測定装置において、
前記窓部から前記測定モジュールに向かう方向から見て、前記遮光部は、前記窓部の外縁に沿って配置されることを特徴とする分光測定装置。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の分光測定装置において、
前記粘着部材は、前記測定波長域の光を透過させる透光部を含み、前記遮光部と前記透

光部とが一体成形されることを特徴とする分光測定装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の分光測定装置において、
前記窓部から前記測定モジュールに向かう方向から見て、前記粘着部材は、前記窓部と重なる位置に設けられ、前記測定波長域の光を透過させる透光部を含み、
前記窓部は、前記筐体に設けられた開口と、当該開口に配置された透光部材と、を含み

、
前記透光部は、前記透光部材との屈折率差が所定の閾値以下であることを特徴とする分光測定装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の分光測定装置において、
当該分光測定装置を制御する制御部が設けられた回路基板をさらに含み、
前記遮光部は、炭素系導電性フィラーを含有し、導電性を有し、
前記筐体は、前記遮光部と前記回路基板とを導通させる配線を有することを特徴とする分光測定装置。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載の分光測定装置において、
前記測定モジュールは、
対象に光を照射する光源部と、
前記対象からの光から所定の波長の光を選択して出射させ、かつ出射させる光の波長を変更可能な分光フィルターと、
前記分光フィルターからの光を受光する受光部と、
を備えることを特徴とする分光測定装置。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の分光測定装置の表面の少なくとも一部に設けられる粘着部材に剥離シートを貼着した粘着シートを複数収納する保管ケースであって、
前記粘着シートが載置される載置面を有する底部と、
前記載置面の周囲に連続し、前記底部と接離する方向に沿って設けられた側壁部と、
を備え
前記側壁部は、
前記剥離シートの外周縁の少なくとも一部に当接し、前記剥離シートの位置を規制する第 1 規制部と、
前記窓部を前記載置面に向けて、前記分光測定装置を前記底部に対して接離する方向に移動させる際に、前記筐体の外周縁の少なくとも一部に当接し、前記粘着部材と前記領域とが重なるように、前記分光測定装置の位置を規制する第 2 規制部と、を備えることを特徴とする保管ケース。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の一態様の分光測定装置は、入射する光に含まれる測定対象波長の光の光量を取得する測定モジュールと、前記測定モジュールを収納し、前記測定モジュールに向かう光を通過させる窓部を有する筐体と、前記窓部から前記測定モジュールに向かう方向から見て、前記筐体の外側であって、前記窓部を囲む領域に配置された粘着部材と、を含み、前記粘着部材は、前記測定対象波長を含む測定波長域の光を遮る遮光部を含み、前記窓部から前記測定モジュールに向かう方向から見て、前記遮光部は前記窓部を囲むことを特徴とする。

本発明の一適用例に係る分光測定装置は、入射する光に含まれる測定対象波長の光の光

量を取得する測定モジュールと、前記測定モジュールを収納し、前記測定モジュールに向かう光を通過させる窓部を有する筐体と、を備え、前記筐体には、当該筐体の表面のうちの、少なくとも前記窓部を囲む領域に粘着部材が設けられ、前記粘着部材は、前記測定モジュールに向かう光の光軸に沿う方向に見た平面視において、前記領域における前記窓部よりも外側で当該窓部を囲み、少なくとも前記測定対象波長を含む測定波長域の光を遮る遮光部を有することを特徴とする。